

3 9 近代都市は産業革命から生まれた

2006/04/10

1 産業革命と近代都市

- 1) 資源立地 ⇒ 流通立地
- 2) 交通革命と都市 運河網 鉄道
- 3) 都市の外延的拡大 大規模工場の立地
- 4) 都市人口の急増 (1801~44) バーミンガム7万三千⇒20万、シェフィールド4万6千⇒11万
- 5) 労働者用住宅の建設 労働者の発生 都市の変貌
- 6) 農村の変貌 困い込み 農業就労の減少 農村織物生産の破綻

2 産業革命の歪

- 1) 労働問題 低賃金 長時間労働 幼年・婦人労働
- 2) 都市問題 環境汚染と制御
- 3) 住宅問題 狭小劣悪
- 4) 公衆衛生問題 コレラの発生

3 都市の変質

- 1) 都市の吸引力 異質機能の吸引、工場生産機能
- 2) 給料生活者の発生 プロレタリアート 売却対象としての労働
- 3) 自立市民の脆弱化 都市コミュニティの崩壊 新しいコミュニティの未発達
- 4) 都市境界の解体 城壁のない都市 スプロール
- 5) 都市の工業生産力 新しい要素の上乗せ 工業生産と都市の矛盾
- 6) 貧困層の発生 救貧活動 社会防衛

4 都市集積の条件

- 1) 交通の要衝 (国内) 鉄道
- 2) 交通の要衝 (海外) 港湾 原料輸入 市場輸出
- 3) 資源・市場からの距離
- 4) 集積の利益 資本の効率化
- 5) 農地の困い込みと労働者の流出
- 6) 余剰労働市場としての都市 労働予備軍の集積

5 近代都市の特色——従来型都市の変貌と解体

- 1) 大規模産業の取り込み 工業都市
- 2) 人口の大増加
- 3) 職住の分離 非自立市民=雇用労働者
- 4) 純粋住宅の必要性 住宅地形成
- 5) 領域の喪失 共通意識の希薄化
- 6) 海外との結びつき 国際貿易 (原料輸入、製品輸出) 相手国産業解体、
奴隷制の拡大 (奴隷貿易) 奴隷制資源生産